

Catch ... キャッチボール ... Ball

2

2023

February

Vol.916

～INDEX～ 【特集】令和4年産農産物を振り返る … 1～6

● しめ飾り寄贈 … 7 ● 青年部通常総会ほか … 8 ● 女性部感謝祭ほか … 9 ● フォトだより … 10 ● 理事会だより … 11



1/5 新年仕事始めの朝礼で20歳の成人を迎える営農推進課の井上志乃職員が挨拶しました。



令和4年産 農産物を振り返る

JJAびばい管内の基幹作物である水稻をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況などを振り返ります。

今年度の當農の参考にお役立てください。

水稻

『気象経過と生育状況』

1 融雪と耕起作業

本年の積雪量は平年に比べ多く推移したが、4月から急速に融雪が進み、融雪期は平年並の4月6日（+0.0）となつた。（空知農業改良普及センター本所調べ。以下の生育期節も同様。）

耕起作業は、融雪後好天に経過したため、ほ場の乾きが進み、耕起最盛期は4月27日（早3日）となり平年よりやや早く進んだ。

2 は種作業

は種作業は平年並に行われ、は種期は4月23日（遅2日）となつた。

3 育苗

出芽期は4月28日（遅1日）となり、は種から出芽までの日数は5日間（平年6日間）だった。育苗期間は概ね高温多照に経過したため、苗の生育は順調に進み、移植時の苗質も概ね良好となつた。

4 移植作業

活着は5月26日（早1日）、分け始は6月6日（早1日）と平年並となつた。6月中旬までの低温、強風の影響により葉の退色が見られ、特に移植が遅れたほ場では大きく影響を受けたため、ほ場間の差が目立つた。その後は高温に経過したことがから生育は回復に向かつた。

5 初期生育

	R4年	平年	差・比率
草丈(cm)	13.7	14.4	-0.7
葉数(枚)	3.7	3.8	-0.1
第一鞘高(cm)	2.6	2.6	0
茎数(本)	1.5	1.5	0.0
乾物重(g/100本)	2.8	3.5	80%
充実度(乾物重/草丈)	0.20	0.24	83%

表1 「ななつぼし」の苗素質(中・成苗平均)

調査月日		草丈(cm)	葉数(枚)	茎数(本/m ²)	遅速日数
6月1日	R4年	19.0	5.0	114	早1日
	平年	18.3	4.7	98	
6月15日	R4年	28.4	6.9	272	早1日
	平年	27.8	6.7	207	
7月1日	R4年	42.1	9.1	593	遅1日
	平年	40.7	8.6	506	
7月15日	R4年	66.0	11.0	593	早1日
	平年	61.0	10.2	680	

表2 「ななつぼし」の生育経過

表3 「ななつぼし」の生育期節

	活着期	分け始	幼穂形成期	止葉期
R4年	5月26日	6月6日	7月2日	7月18日
平年	5月27日	6月7日	7月1日	7月19日
遅速	早1日	早1日	遅1日	早1日
	出穗始	出穗期	出穗前	成熟期
R4年	7月24日	7月28日	8月1日	9月13日
平年	7月26日	7月30日	8月3日	9月14日
遅速	早2日	早2日	早2日	早1日

表4 「ななつぼし」の収量構成要素

育苗様式	m ² 穂数(本/m ²)		1穂粒数(粒/穂)		m ² 総粒数(粒/m ²)		稔実歩合(%)	
	R4年	平年比	R4年	平年比	R4年	平年比	R4年	平年比
中苗	609	102%	53.4	92%	32,600	94%	95.6	101%
成苗	521	87%	70.9	121%	37,000	106%	93.8	101%

成苗は少なく平年比87%となつた。また、一穂粒数と当たる総粒数は、中苗は平年より少なく、成苗は多くなつた。



おひこじ座 全体運：コミュニケーション運が回復。話し合う姿勢は幸運も呼び込みます。頼み事もすんなり引き受けられます。

健康運：テレビを見ながらストレッチが吉 幸運の食べ物：キャベツ

モナ・カサンドラ

今月のあなたの運勢

2月

令和4年産 農産物を振り返る

北海道農政事務所による南空知の予想収量（9月25日現在）は、10万t当たり576キロ、作況指数105と発表されている。

平年より多収でタンパク値は低い

傾向となり、外観品質は平年並みになつた。しかし、遅発分げつの発生や倒伏したほ場では青末熟粒・青死米の混入が多く、肩米が多くなつた。

10 いもち病

全体的な発生は無く、一部の発生に止まつた。

11 カメムシ

カメムシは、捕虫網による調査の結果から、発生量は多く推移した。しかし、適期防除の実施により、全体的に斑点米による被害粒はほとんど見られなかつた。

12 紋枯病（疑似紋枯症含む）

紋枯病は一部で病徵は見られたが、病徵の進展は見られなかつた。

令和5年度に向けて

1 茎数確保のため初期生育促進

近年、5月下旬～6月にかけて天候不順（低温、日照不足、強風等）に遭遇し、その後の生育に影響を与えていた。このため、地温を高め、健苗を適期に移植することで影響を最小限にすることが重要。

春は融雪促進を進め、停滯水をすくにほ場外へ排出し、乾田化を図り、早期に窒素吸収ができるようにする。

移植は、育苗日数ではなく、葉齡にあわせて（中苗3.1、成苗3.6葉頃）植え始める。また極端な低温や強風時の移植は避ける。

2 窒素施肥量の適正化

無駄のない施肥を行うために土壤診断を実施する。特に本年倒伏やなびきがみられたほ場では可給態窒素（培養窒素）を再確認し窒素減肥を検討する。また、土壤診断結果によりリン酸やカリが過剰であればリン酸、カリ含有量の低い銘柄への変更を検討する。

3 本田水管理①

活着後は浅水管理を行う。ただし、極端な低温や強風予報の場合は、前日から深水にする。ワキや濁りがひどい場合は中干しや水の入れ替えを実施する。

4 本田水管理②

登熟初期に高温が続く場合は、かんがい水の掛け流しにより地温と稻中干しする。

登熟中期の落水は、出穂期後25日頃以降に行うのが原則だが、ほ場の排水性、穗割りの状況や登熟状況をよく観察し、天気予報も考慮しながら落水時期を検討する。収穫の10日前頃までは土壌表面に大きな亀裂が入らないことを心がける。落水後は、入水や排水を容易にするため、早期に溝切りを行つ。

秋まき小麦（きたほなみ）

『生育状況』

令和4年産秋まき小麦のは種始めは、平年より1日早い9月7日だった。は種期は2日早い9月17日で、は種終わりは9月27日（平年差+1日）だった。

出芽期は9月26日で平年より2日遅くなつた。出芽後の生育は順調に進み、越冬前の葉数はほぼ平年並みの6.4葉、 m^2 当たり茎数は平年より17%多い1,660本となつた。

根雪始めは平年より15日遅い12月13日、融雪期は平年より1日早い4月5日で積雪期間は113日と、平年より18日短くなつた。最深積雪では126 cm に達し、平年値の90 cm を上回つた。

本/ m^2 （平年差+29本/ m^2 ）、稈長は79.9 cm （平年差+0.5 cm ）、穗長は9.1 cm と平年並みだつた。

成熟期（出穂期～成熟期）は43日と平年並みだつた。成熟期の穂数は837

日数（出穂期～成熟期）は43日と平年並みだつた。成熟期の穂数は837

2 起生期～出穂期

越冬後、雪腐や冬損の発生は少なかつた。起生期、幼穂形成期はほぼ平年並みと順調に進み、5月以降は高

温の影響で止葉期と出穂期は平年より2日早くなつた。

年並みと順調に進み、5月以降は高

温の影響で止葉期と出穂期は平年より2日早くなつた。



ふたご座 全体運：勢い余ってミスしても許してもらえそう。ポジティブなあなたの周りには味方が集まってきた。目標を伝えて

健康運：良い汗をかいて体力アップ。体調も改善

幸運の食べ物：小松菜



おうし座 全体運：当てが外れる危険が。人に頼らず自己完結できるプランを組みましょう。下旬は好情報を入手できる予感あり

健康運：おいしいものが癒やしに。美食を楽しんで

幸運の食べ物：フキのとう

令和4年産 農産物を振り返る

令和5年度に向けて

令和5年産小麦のは種作業は、は種始が9月5日（平年差+2日）、その後も作業は順調に進み、は種終わりは9月26日（平年差+1日）だった。10月15日現在の生育は平年並みに進み、草丈は17.6cm（平年差-0.5cm）、葉数は4.3葉（平年差+0.2葉）、pm当たり茎数は477本と平年並みだった。

1 施肥管理

近年、は種時期が早く、は種量が多く起生期の生育が旺盛なほ場がみられる。そのようなほ場の場合は追肥を遅らせるか、減肥するなど、生育状況を確認しながら適切な施肥管理に努める。

2 なまぐさ黒穂病対策

連作や排水不良、起生期以降の茎数が多いほ場での過剰な追肥などでも眼紋病の発生による倒伏がみられる。発生を抑えるための対策は次のとおり。

- 融雪促進に努め、額縁明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。
- 生育状況に応じた適正な施肥管理。
- 幼穂形成期、小麦草丈40~60cmでの茎程伸長抑制剤（サイコセルPR）の散布。
- 幼穂形成期頃の葉剤（カンタスドライフルアブル）散布。

3 赤さび病・赤かび病対策

赤さび病は幼穂形成期頃から発生

がみられるので、ほ場を観察し発生を確認したら出穂期以降までのローテーション防除を実施する。赤かび病の防除は開花始以後で、高温年はかび毒（DON）の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

春まき小麦(初冬まき栽培)

『生育状況』 1 は種（R3年）

令和4年産初冬まき小麦のは種始めは、平年より4日早く10月29日、は種終わりは平年より5日早く11月7日だった。

2 越冬後～成熟期

越冬後の生育は順調に推移し、高溫傾向で登熟は進み、成熟期は平年より2日早く、登熟日数は（出穂期～成熟期）48日と平年並みとなった。茎数（穗数）は生育全般を通じて概ね平年並みの値を推移し、成熟期の穗数は761本/m²（平年差-50本）となつた。稈長は80cm（平年差-0.3cm）、穗長は8.5cm（平年差+0.4cm）だった。

収穫作業は順調に進んだ。登熟状況は平年並みだったが、赤かび病が多発したほ場では低収、歩留まりの低下などがみられた。

④ 幼穂形成期頃の葉剤（カンタスドライフルアブル）散布。

排水性の悪いほ場では、額縁明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。

- 融雪後、ほ場に入れるようになつたら直ちに窒素肥料を施用する。
- 収穫作業は降雨の影響もあつたが平年より早く進んだ。一部ほ場では他作物との競合により10月中旬以降に終り、しわ粒の発生がみられた。



うどんこ病・赤かび病対策

うどんこ病は幼穂形成期頃から発生がみられるので、ほ場を観察し発生を確認したら出穂期以降までのローテーション防除を実施する。

赤かび病の防除は開花始以後で、高温年はかび毒（DON）の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

大豆(ユキホマレ)

『生育経過』 1 は種～出芽

大豆のは種作業は平年より3日早く始まり、空知農業改良普及センター所管内のは種終わりは6日早く、一部ほ場では他作物との競合により6月上旬に終わった。気温はやや低めだったものの十分な土壤水分により出芽期は平年より2日早かった。

令和5年度に向けて

表1 春まき小麦の生育期節と遅速(初冬まき栽培)

	R 4	平年	遅速
は種終（R3）	11月7日	11月12日	早5日
幼穂形成期	5月12日	5月14日	早2日
止葉期	5月28日	5月31日	早3日
出穂期	6月6日	6月8日	早2日
成熟期	7月24日	7月26日	早2日
収穫期	8月3日	8月4日	早1日
収穫終	8月6日	8月8日	早2日
登熟日数 (出穂期～成熟期)	48日	48日	0日



全運：上昇運です。1つ1つ丁寧に進めていきましょう。足りないところは補ってもらえるはず。旅行計画にツキ

健康運：ふくらはぎをモミモミしてむくみを解消

幸運の食べ物：ワラビ



令和4年産 農産物を振り返る

1 湿害対策
マメシンクイガやカメムシ類による被害粒が散見された。かびなどの腐敗粒はわずかにみられた。

2 乾燥害対策
令和5年も基本技術の励行と適期管理作業に努める。

3 収穫
灌溉によるかん水を検討する。地下水を排除できるように暗きよの点検や額縁明きよ、表面水の排水のため溝きりなど整備する。

4 土破碎
高温・干ばつが続く場合は、地下灌溉した状態でのサブソイルによる心土破碎が有効である。

令和5年度に向けて

4 病害虫
マメシンクイガやカメムシ類による被害粒が散見された。かびなどの腐敗粒はわずかにみられた。

表1 大豆の作業・生育期節と遅速 (ユキホマレ)

	R 4	平年	遅速
は種始	5月14日	5月17日	早3日
は種期	5月22日	5月28日	早6日
は種終	5月30日	6月5日	早6日
出芽期	6月7日	6月9日	早2日
開花期	7月15日	7月17日	早2日
成熟期	9月17日	9月21日	早4日
収穫期	10月7日	10月11日	早4日

『令和4年の生育経過と農作業状況』

(空知農業改良普及センター作況定点)

1 は種～移植

は種作業は順調に進み、は種期は3日早かった。出芽期も3日早く、育苗中の生育は概ね順調に推移した。

移植作業は降雨の影響が少なかつたことから順調に進み、移植終は3日早かった。

2 莖葉伸長期～球肥大期～倒伏期～枯葉期

5月5半旬までは高温少雨により生育し、強風日も多かつたため、活着の遅れや生育の停滞、葉先枯れ症状が散見された。

5月6半旬以降の降雨により生育は回復傾向で推移し、平年並からやや進んだ。6月下旬の多雨により、透排水性が劣るほ場（部分）では、土壤の過湿による生育不良が見られた。7月上旬は、急激な茎葉伸長と強日照により葉先枯れ症状が散見された。

7月に入り土壤水分が十分に確保されたため、茎葉の生育は旺盛となり、球肥大期は1日遅く、倒伏期は2日遅かった。球肥大は良好で、球径は平年並からやや大きかった。断続的な降雨による根傷みや高温により枯葉期は2日早かった。

たまねぎ(北もみじ2000)

より作業は停滯し、収穫期は2日遅かった。

4 収量・品質

平年並～やや多となつた。変形等による規格外球は少なく、収量は規格内率は平年並となつたが、収穫期の降雨による土砂の付着や腐敗球の発生が多かつた。極早生品種では、日焼け症状の発生が多かつた。

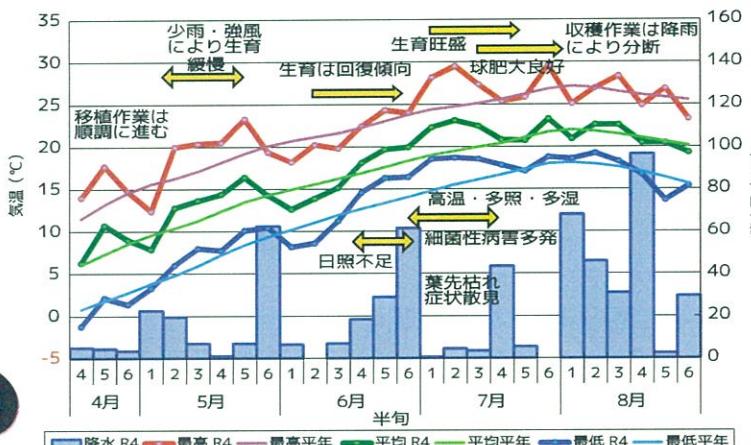


表2 たまねぎの生育期節

(空知農業改良普及センター作況値)

	生育期節					
	出芽期	球肥大始	球肥大期	倒伏始	倒伏期	枯葉期
R4	3/6	7/1	7/7	7/22	7/25	8/15
平年	3/9	7/1	7/6	7/20	7/23	8/17
遅速日数	+3	±0	-1	-2	-2	+2

表1 たまねぎの生育概要 (空知農業改良普及センター作況値)

	生育概況								
	5/15	6/1	6/15	7/1	7/15	8/1	8/15	9/1	
草丈 (cm)	R4	13.1	23.6	48.2	82.1	83.5	63.3		
	平年	13.6	24.8	48.8	74.9	82.5	67.3		
葉数 (枚)	R4	1.9	4.4	7.0	9.4	8.2	6.9		
	平年	2.1	4.4	6.5	8.5	8.8	7.0		
葉鞘茎 (mm)	R4	3.3	6.8	11.6	19.2	20.4	17.0		
	平年	3.5	7.1	12.0	18.5	19.8	16.9		
球径 (cm)	R4					5.2	7.4	7.6	7.8
	平年					5.1	7.2	7.5	7.7
遅速日数		-1	-1	±0	±0	+1	+1	+2	+2



こひん座 全体運：ゆっくりにこやかに話すのが成功の秘訣（ひけつ）。交渉事は反対意見を言わない方がうまくいきます

健康運：人と一緒に運動するとレベルアップできます
幸運の食べ物：セロリ

あとめ座 全体運：うまくいかないことは時間と距離を置いて。
今はこじらせないのが最善の方法です。経験者の話は参考にして◎

健康運：頑張り過ぎは禁物。適宜休憩を入れて
幸運の食べ物：ゴボウ

令和4年産 農産物を振り返る

『病害虫』
ネギアザミウマの初発は平年並か
らやや早く、発生量は平年並からや
や多く推移したが適期防除により被
害は少なかつた。

6月下旬の降雨と曇天により一部
のほ場で白斑葉枯病の発生が見られ
たが、初発はやや遅く、防除により
発生量は少なかつた。

6月上旬の多雨や7月上旬の高温
多湿の影響を受け、軟腐病やりん片
腐敗病による細菌性腐敗の発生が多
かった。また、8月上中旬の多雨に

表3 たまねぎの農作業期（空知農業改良普及センター作況値）

	農作業期								
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
R4	2/13	2/19	2/24	4/17	4/21	4/28	8/11	8/30	9/9
平年	2/16	2/22	2/27	4/18	4/24	5/1	8/13	8/28	9/12
遅速日数	+3	+3	+3	+1	+3	+3	+2	-2	+3

表4 たまねぎの収量調査（空知農業改良普及センター作況値）

	収量 (kg/10a)	球数割合 (%)					規格内計	規格外	一球重 (g)
		規格内	2L	L大	L	M			
R4	6,303	6,275	2.8	26.1	52.9	12.0	1.3	95.1	4.9
平年	6,074	5,843	10.6	30.7	36.4	15.4	2.1	95.2	4.8
平年差	229	432	-7.7	-4.5	16.5	-3.5	-0.8	-0.1	0.1
									6

令和5年度に向けて

春先、育苗ハウス内に融雪水が浸透しないよう、溝切りなどを行う。たまねぎの安定生産には、「良い苗（適期苗）」を「良いほ場条件」で移植することが大切。ほ場の融雪を促進し、適期に移植できるよう準備する。

近年の極端な気象変動の影響を緩和するためには、ほ場の透排水性改善、土づくりが重要（後述の『園芸全般』の項を参照）。また、可能な場合は、小麦・大豆・てん菜など畠作物との輪作を進める。

より、肌腐れ症状の発生が多かつた。

かし、8月中旬の最低気温の低下により曲がりが発生した。その後は昼夜の寒暖差が大きかつたことから萌芽数が減少し、9月上旬には収穫が終了した。収量は前年よりも多かつた。

2 露地作型

5月は風が強い日が多くなったことに加え、23日の降雹により若茎に傷が目立つたが被害は限定的であった。春芽収穫期間中は、気温は平年より高くなり、適度な降雨により、萌芽は順調で、収量は前年よりも多かつた。

立莖中は平年よりも気温が高く、雨が多かつたことにより、立莖枝の草丈は長く、擬葉が大きく、旺盛な生育であった。また、下枝や二次葉の吹きも多く立莖枝の仕上がりは早かつた。

アスパラガス

1 ハウス作型

3月下旬から収穫が始まった。春芽収穫中は、気温、日照に恵まれ、萌芽は順調であった。また、前年秋の養成状況が良好であったため、収量は前年よりも多かつた。

立莖中は、6月上旬を除き気温は平年並く高めに推移したことにより、5~6月上旬は日照に恵まれたため、立莖枝の生育は順調であった。

夏芽は6月下旬から萌芽が始まつた。収穫期間中は、7月下旬の一時的に調査を行つた。根中糖度は、平年

よりも多かつた。

慣行栽培での春芽収穫後の生育は、気温は平年並く高めに推移し、6月中旬~下旬と8月の多雨により、発生に加え萌芽数が減少し、回復しないまま9月上旬には収穫が終了した。収量はハウス作型と同様に前年よりも多かつた。

生育は、気温は平年並く高めに推移し、6月中旬~下旬と8月の多雨により、発生や被害が目立つた。

4 病害虫の発生状況

栽培	草丈 (cm)	有効莖		斑点病発病指數 (%)	根中糖度 (%)
		莖数(本/m)	莖径(cm)		
ハウス立莖	196.6	13	1.30	2.7	20.1
露地立莖	155.0	15	1.26	2.9	18.2
露地慣行	165.3	22	1.03	1.6	19.4

※草丈は、トッピング実施(ほ場合む)

※有効莖は、莖径 0.5cm 以上の莖葉

※斑点病発病指數 (0 ~ 4 の 5 段階評価)

0 : 発病なし 2 : 痘斑が認められ、一部落葉、黄化

4 : 株の 1/2 以上が黄化、落葉

よりも低かつた。

令和5年度に向けて

1 基枯病の防除

感染には雨が必要で、雨が降ると広がり、萌芽直後から感染が始まる。斑点性病害の中でも感染力が非常に強く、翌春の収量への影響が大きい。

いこ座 全体運：その場しのぎの発言は首を絞めそう。言い訳よりもおわびと改善案が大事。冷静に対処すればピンチがチャンスに

健康運：準備運動は怠入りに。テーピングも◎ 幸運の食べ物：カラシナ



さそり座 全体運：部屋の中を整理整頓。居心地の良い空間をつくると滞っていたことが動きだします。家族で過ごす時間も大切に

健康運：好きなスポーツを楽しんで。継続が大事 幸運の食べ物：ダイコン



令和4年産 農産物を振り返る

『R4年、多発した要因』

- 春芽収穫打ち切り後から立莖が完成するまでの雨
- 春芽の収穫が終了してから2週間程度、萌芽が途切れなかつた
- 8月は降雨の回数、量が多かつた
- 立莖した莖葉に加え、二次萌芽した若莖や新たに発生した下枝への罹病により、蔓延。



赤褐色紡錘形の病斑
病斑上に小さな黒い粒
=柄子殻（伝染源）

『生育経過』

降雪が多かつたことにより、枝折れが多く発生した。

融雪は順調に進み、発芽、展葉は平年並であった。4、5月の気温は高めに推移し、平年よりも3日早い5月5日に開花始を迎えた。6月10日から着色が始まった。

収穫は6月20日から始まった。開花中の強風により落花が多く、果実の傷や小粒が目立った。また、6月下旬の高温による過熟に加え、強風と降雨により落果し、収穫期間が短く、平年を大きく下回る収量となつた。

収穫終了後は平年並く高めに気温が推移し、8月は雨が多かつたことから、新梢の伸びは順調であった。

病害虫は、灰色かび病の発生は少なかつた。アブランシ類は、例年同様に収穫が始まると頃から発生があつた。カイガラムシの発生は多く、収穫中の果実のすす汚れや収穫終了後に葉裏や枝への寄生が目立つた。

- 茎葉残渣物は刈り取り、ほ場外へ搬出する（すき込まない）。搬出後、可能であれば刈り残した残渣をバーナーで焼却する。
- 防除は雨前とし、立莖直後から開始する。特に、立莖開始から30日間は7日ごとにを行い、初期感染を防ぐ。
- 雨の降らない時期に立莖する。
- 発病が見られたら、罹病莖葉はず抜き取り、ほ場外へ搬出する。

- 2かん水、施肥は遅れず、過不足なく行う
- 夏芽は、一度ほ場を乾かすと萌芽が止まり、製品率が低下する。特に収穫がピークとなる7月中旬～8月中旬は、十分にかん水を行う。

土壌診断を実施しているほ場は、診断結果に基づいて過不足を改善し、養分バランスを整える。

ハスカップ

差も大きい。また、開花中は比較的温が低いため、訪花昆虫の活動が鈍い。防風網の設置により、気温を高め結実率の向上と、強風による落花（果）を防ぎ、収量の安定を図る。

2 害虫の防除

カイガラムシの被害が多いほ場は発芽前や落葉後に機械油乳剤95を散布する。アブランシ類は落花頃から果実の着色期を中心に、防除を行つ。

ナガチャコガネムシは6月下旬頃から成虫となって羽化する。薄暗くなつてから、オスのみが地面すれば飛び、メスを見つけ交尾し、すぐに土中へ潜る。本虫に使用できる農薬がないため、成虫の発生時期に捕殺して、発生密度をできる限り下げる。

ハスカップは使用できる農薬が少ないため、病害虫の被害にあった葉や枝は、速やかに除去するなど耕種的防除に努める。

①透排水性を改善するため、心土破碎等による耕盤層破壊、明きよ・暗きよの設置、ほ場均平などできることを実施する。

②堆肥の施用、綠肥作物のすき込みなど有機物の投入により、土壌物質の改善、地力の向上に努める。

化学的防除（薬剤防除）に当たっては、使用時期や回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどによって他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後すぐに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないようにする。

8月以降は翌年の花芽が作られ、養分を蓄積する大事な時期となる。夏季は日陰をつくる新梢を間引き、樹幹内に日が届くようになる。秋季は、老朽化した過繁茂な主軸枝や、樹高が高く伸びすぎた枝の切り戻し、害虫が寄生した枝の除去などを行い、作業性の良い骨格づくりを行う。

園芸全般

令和5年度に向けて

近年、極端な天候が多くなり、作物の生育や病害虫の発生に影響を与えている。気象に左右されない健全な作物生産には、ほ場環境の整備、土づくりが必須となる。

各作物の詳しい内容については、担当部署までお尋ねください。

【文責】アスピラ・ハスカップ・農産園芸課
その他..空知農業改良普及センター

水稻・小麦

米 妻 課 TEL 63-0526
大豆・玉ねぎ・アスピラ・ハスカップ
農産園芸課 TEL 63-0527



みすがれ座 全体運：非常にパワフル。リーダーシップを発揮して称賛を浴びます。遅れが出そうな部分へのフォローはきめ細かに

健康運：元気いっぱい。ハードなスポーツを楽しんで幸運の食べ物：キウイ



やさ座 全体運：有言実行。口にしたことは実行する必要があります。慎重に発言しましょう。やつたことへの評価は高めです
健康運：早寝早起きで病知らず。朝食も大切に
幸運の食べ物：セリ

五穀豊穣を願い手づくりしめ飾り寄贈



左から白石局長、岸組合長、JA川原満営農部長、振興局宮森隆之副局長

J AとJA女性部は令和4年12月、空知総合振興局や美唄市などにしめ飾りを寄贈し、令和5年の五穀豊穣を祈願した。

J Aは12月23日、岩見沢市の空知総合振興局を訪問。白石俊哉局長に、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。同局へのしめ飾りの寄贈は今回で15回目となる。

岸定代表理事組合長が「今年のように来年も五穀豊穣の年となるよう、振興局に飾ってもらいたい」としめ飾りを手渡すと、白石局長も「来年も豊穣の秋を迎えるよう、我々も努力したい」と笑顔で受けとった。

また女性部役員は12月5日、JAの岸組合長と美唄市の板東知文市長を訪問し、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。しめ飾りの寄贈は今回で17回目となる。

谷村清美女性部長は「来年もみんな笑顔で過ごせるよう、五穀豊穣を願っています」と岸組合長と板東市長に手渡した。

J AとJA女性部が寄贈する手づくりのしめ飾り「福亀」は上美唄開拓地区の女性グループ3名が丹精して編み上げたもの。長寿を願う大きな亀と豊作の象徴である稻穂を下に垂らすのが特徴。



女性部役員から美唄市へ



女性部役員からJ Aへ

モナ・カサンドラ【プロフィール】占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。

ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>



全体運：困り事は改善の兆し。周囲を巻き込んで皆で取り組みましょう。ギブ・アンド・ティクが成功のこつ

健康運：保温効果の高い下着で寒さ対策を万全に
幸運の食べ物：カリフラワー

新体制により充実した活動を



挨拶に立つ新役員

青年部は令和4年12月26日、JA 3階大会議室で第74回通常総会を開き、新部長に藤原友和さん（前副部長）を選んだ。総会には委任状を含む50名が出席した。

開会で今田雅之部長は「盟友数の減少にともない組織体制を見直すなど、令和4年度は新たなスタートの年となった。役員共々、戸惑う場面もあつたが、盟友や関係者の協力で1年間活動できた」と挨拶した。

岸定代表理事組合長は「偉大なるものは嵐の中に育つという言葉がある。君たちも困難から逃げることなく、チャレンジ精神を忘れず頑張ってほしい」とエールを送った。

総会では令和5年度事業計画などを全6議案を原案通り可決。藤原新部長は「ここ数年は新型コロナの影響で従来の活動を実施できていないが、こんな時こそ新たなことに挑戦するチャンスと捉え、盟友が楽しく活動できる1年間にしたい」と決意を述べた。

部長以外の新役員は次の通り

- 副部長 山角翔太（再・開発）
早川隼兵（新・発展）
- 理事 高橋 健（新・茶志内）
浅井 拓（新・中村）
- 監事 小野幸光（再・沼の内）
西塚 弘（新・中村）

J.Aでは、12月の会議から本格的にペーパーレス化を進めている。紙での資料配付を減らし、コスト削減や業務効率の改善を目指している。令和2年からペーパーレス化を検討し、紙資料による会議運営のコストや問題点を明確化。ペーパーレス会議の体験会などを開き、導入に向けて準備していた。

今後はJ.Aで開く会議全てで順次ペーパーレス化を進める。

ペーパーレス会議 本格化



手元のタブレット端末で資料を閲覧する役員（定例理事会）



女性部 自慢の一品を販売

女性部は令和4年12月9日、美唄市内の商業施設コアビバイの展示ギャラリーで毎年恒例の「感謝祭2022」を開催。部員手づくりのしめ飾りや手芸品、ドライフラワーなどを販売し、会場は大いに盛り上がった。

谷村清美女性部長は「多くの市民が足を運んでくれてとてもうれしい。コロナ禍が落ち着いたら試食なども再開したい」と話した。



部員自慢の一品を買い求める市民ら

女性部加工部会は令和4年12月5日、JA1階加工研修室で豆腐と豚汁づくりを実施。部会員6名が参加し、青大豆を使った豆腐づくりに挑戦した。

豆腐づくりは今回で3回目。参加者が手慣れた手つきで仕上げ、きれいな豆腐が完成した。

さらに仕上がった豆腐と同部会で仕込んだ味噌で作った豚汁を参加者全員で堪能した。



豆腐づくりの様子

おいしい豆腐 みんなで凸凹

女性部シルバー部会は12月2日、美唄市社会福祉協議会2階で毎年恒例のクリスマス会を開催。部会員16名が参加し、社協職員が考えた身体や頭を使うゲームで部員間の交流を深めた。

紙コップを積み上げて元に戻す速さを競うものや空き缶やぬいぐるみを紙皿に乗せて運ぶものなど、多くのゲームを参加者全員で楽しみ、会場には元気な笑い声が響いた。



どのゲームも真剣に楽しむ参加者

身体と頭を使って 楽しもう！



わたあめと一緒に食べるこどもたち

やつぱり縁日 楽しいね

女性部フレッショユニズ部会は11月27日、JA3階大会議室で三二縁日を開催。部会員家族のほか、青年部員の家族も参加し、楽しい時間を過ごした。

子どもたちのはしゃぐ声が響いた会場ではヨーヨー釣りや輪投げ、わため屋さんなど小さな縁日を再現。参加した家族からは「子どもの楽しそうな姿が見られてうれしい」などの声が聞こえた。



美唄先進農機研究会と美唄農業情報システム研究会がJA 3階大会議室で会員を対象とした新しい生産履歴システムの利用説明会を開催し、会員 26 名が参加。履歴を作成するなど新システムを体験した。(12/01)



美唄市グリーンアスパラ生産組合がJA 3階大会議室で精算会議と出荷反省会・栽培講習会を開催し、組合員 10 名が出席。栽培講習会では営農推進課の北藤雪子職員が令和5年の栽培管理について説明した。(12/05)



美唄水稻直播研究会がJA 3階大会議室で令和4年度の成績検討会を開催し、会員 17 名が参加。情報提供として空知農業普及センター・やサンアグロ(株)が水稻直播栽培に適した肥料などについて説明した。(12/09)



女性部がタオル 1 本運動を実施。集まったタオル 96 本や紙おむつ 2 袋、毛糸などを養護老人ホーム恵風園などに届けた。受け取った和田辰也園長は「毎年たくさんのお寄せをいただきうれしい」と話した。(12/05)



女性部三役が美唄市立中央小学校で4年生2クラス48名にハスカップジャムの作り方を教えた。ハスカップは令和4年7月にJAびばい農場を訪れた児童が収穫したものを使用した。(12/12)



美唄農業情報システム研究会と美唄市農民協議会がJA 3階大会議室で農業会計ソフトソリマチの講習会を開催し、会員ら 14 名が参加。基本的な操作方法などを参加者に指導した。(12/20)

▼理事会より

定期理事会 12月15日

- ①令和4年11月貸付実行報告
- ②令和4年11月末現在、業務財務報告
- ③コソアライアンス委員会報告
- ④常務委員会報告
- ⑤JAびばい農場活用推進委員会報告
- ⑥人事動静報告
- ⑦令和4年度決算推定報告
- ⑧その他

- ⑩令和4年産共計玉葱の概算金について
いて
- ⑪その他
- …全議案承認

- ④令和2年産主食用米の最終精算につ
いて
- ⑤令和3年産主食用米の最終精算につ
いて
- ⑥令和3年産普通小麦の最終精算につ
いて
- ⑦令和3年産大豆の最終精算について
- ⑧令和4年産普通小麦の追加概算金に
ついて
- ⑨令和4年産花き・野菜共計品目最
終精算について
- ⑩令和4年産花き・野菜共計品目最
終精算について
- ⑪令和4年度らいす工房調製米穀の精
算について
- ⑫その他

中級

農協職員
資格認定試験合格者

岡 広祥（農産園芸課）

上級

小山 学（米麦課）

平 彩佳（金融課融資係）

高田怜史（金融課融資係）

- ①年末手当の支給について
- ②令和4年度第3・四半期末監査の結果について
- ③コソアライアンス規程の一部改正について
- ④コソアライアンス・マーケットの一部改正について
- ⑤令和4年度自己査定に係る不動産評価基準の設定について
- ⑥大口貸出先且つ理事並びに特定組合員を含む団体に対する資金の貸付について
- ⑦令和2年産水田活用米穀（加工用）の最終精算について
- ⑧令和3年産水田活用米穀（加工用・飼料用）の最終精算について
- ⑨令和4年産特定米穀の精算について

- ⑩令和4年産米・大豆集荷状況報告
- ⑪令和4年度生産施設操業状況報告
- ⑫経済事業業況報告
- ⑬その他

- ⑭令和4年度らいす工房調製米穀の精算について
- ⑮農家経済改善対策委員会報告
- ⑯JAびばい農場活用推進委員会報告
- ⑰再発防止策取組みチェックリスト結果報告
- ⑱特定組合員のクニカン収支見込報告
- ⑲その他

- ⑳令和5年度内部監査計画について
- ㉑秋季地域別懇談会意見等に対する回答について
- ㉒令和3年産国内麦流通円滑化特別対策事業交付金支払報告
- ㉓特定組合員に対する資金の貸付について
- ㉔その他

今後の業務に
生かして頑張って
くださいね！





ピザづくりと一緒に楽しむJA職員と青年部員

担当 : 《編集委員》藤原友和(沼之内)

22名、農協職員16名が参加しました。当日は青年部で制作したピザ釜を使用し、JAびばい祭に向けたピザの試作を行いました。班ごとに分かれ自己紹介を行うなど会話をしながら、思い思いのトッピングをした

JAびばい祭に向けてピザ釜を作り、交流を深めました。

22名、農協職員16名が参加しました。当日は青年部で制作したピザ釜を使用し、JAびばい祭に向けたピザの試作を行いました。班ごとに分かれ自己紹介を行うなど会話をしながら、思い思いのトッピングをした

JAびばい祭などのイベントがコロナ禍の影響で自粛が続いていたため、久しぶりの出番となりました。職員さんはもちろん盟友にも見たことがない人がいる中で、今後のイベントで使用するに向けてよい機会になったかと 思います。今年度は新入職員も多く、また様々な部署から参加していただけたため、普段あまり関わりのない職員さんとも交流することができました。美唄市の農業を支えていく仲間として今後も様々な事業で交流を深めていきたいと思います。参加していただきいた皆さんありがとうございます。

11月14日農協職員との交流会を開催しました。農協職員と青年部員の相互理解を目的として開催され部員22名、農協職員16名が参加しました。当日は青年部で制作したピザ釜を作り、JAびばい祭に向けたピザの試作を行いました。班ごとに分かれ自己紹介を行うなど会話をしながら、思い思いのトッピングをした

JA YOUTH
VOL.35

青年部とJA職員組合との交流会

想
い
よ
届
け

JAアプリの4つの特徴

1 カンタン登録!	2 口座残高をチェック!	3 明細の照会からくらく	4 ネットバンクへ手軽にアクセス
-----------	--------------	--------------	------------------

JAバンク
<https://www.jabank.org/app/>

お悔やみ申しあげます

美唄市農協生活改善
運動推進協議会

開発本清さん
(八十歳)

十二月十六日死去

北美唄千代子さん
(九十八歳)

十二月二十一日死去

伊藤秀五郎さん
(八十九歳)

十一月二十九日死去



▷ JAの概況

<12月末>

- 皆さんの貯金 24,776,137千円
- 皆さんへの貸出金 5,069,425千円
- 皆さんの出資金 715,890千円
- 組合員数 (正) 747人
(准) 3,546人
(計) 4,293人

▼▼▼ 編集後記 ▲▲▲

1月生まれの次女のお誕生日プレゼントを買うため、新年早々スポーツ用品店に。

プレゼントを決め、漫画でも買おうかなと隣接するゲオに向かい、何気なくゲームコーナーを見ると…。ずーっとほしかったプレイステーション5が!!え?ウソでしょ?!どうしよう!買う?買うよね?だってほしかったんだもん!でもいいお値段だしな…急すぎて心の準備が…どうしよう…。と自問自答しつつ、プレゼントのお会計に並ぶパパの元へ、PS5の本体あるー!!とダッシュ!!

悩んだ結果、次いつ買えるかわからないので思い切って買っちゃいましたー!!本当はベッドのフレームを買おうと思ってたお金で。笑
おかげで何もない休日は朝から晩までゲーム三昧!!リビングのテレビを占領して、お昼ごはんも食べずに童心に戻りすぎてママのくせにやりたい放題です。



金融課からのお知らせ

JA教育ローン キャンペーン !!

入金や学費など、金額やお支払い時期が決まっている方におすすめ



【期間】

令和4年
9月1日(木) ~
令和5年
4月28日(金)

証書貸付型教育ローン

北海道農業信用基金協会保証の場合

信販会社保証の場合

変動金利 年2.2% 保証料 0.4%込
通常 4.0%

変動金利 年2.8% 保証料 1.0%込
通常 4.60%

固定金利 年2.4% 保証料 0.4%込
通常 5.25%

固定金利 年3.0% 保証料 1.0%込
通常 5.85%

在学中の費用を必要なときに必要な分だけお借り入れになりたい方にはカード型教育ローンもおすすめ!

お問い合わせはコチラ



JAびばい

金融課融資係

TEL 63-2163